

私が茨高に入学した頃はコロナ禍で制限が長い期間が続きました。不安の多い中、分散登校やオンライン授業などを受けながらも先生方は小テストやプリントを用いて効率的にそして丁寧に教えてくださいました。授業ではただ学習の話をするのではなく、時には大学受験に向けての姿勢や自分の将来についてよく考えてみる時間も設けてくれました。そして茨高の魅力のひとつである課外授業は年間沢山の種類の授業があり、自分で選択し、主に放課後や長期休業期間中などに受けることができます。課外授業といってもそんなに難しく考えることはありません。「自分がより興味のある教科などを深く学ぶ事ができる場」と言えるでしょう。授業で疑問に思ったことも課外授業でより理解できます。質問も沢山できます。そして先生方のサポートはとても厚いです。進路に悩んだ時、先生方は親身になって相談に乗ってくれました。自分が興味のあるものが沢山あった私に的確にアドバイスしてくださり、生徒一人一人を大切に考えてくれます。学習面だけでなく、生活の悩みも打ち明けられる環境があります。また、高校1年次には医学コースに所属しました。医療機関の先生や現場の医師の方々に講演をしていただき、沢山の医療についての知識や考え方を身につけました。医学コースで学び得たことは大学受験やその先の進路を考える際に良い材料にもなりました。

私は3年間水泳部に所属していました。大学受験や学習する上で体力も大切な要素の1つです。男子の高入生は私一人だけでとても心細いかと思いましたがそんなことはなく、すぐに打ち解けて大会などに向けて互いに切磋琢磨し合うことができました。私の部活動は週3回だったのでそれほどハードではなく、勉強との両立ができる点もメリットだと思います。また、部活動だけでなくクラスメイトとの時間も楽しく、皆で団結して創り上げる文化祭は良い思い出になりました。クラスマッチは前期と後期で2回あり、生徒会を中心に様々な種目をクラス対抗で楽しみました。私の学年はコロナ禍の影響でなくなりましたがマラソン大会も体力をつけるのにとっても良い行事だと思います。コロナ禍で寂しいと感じることもありましたが、行事や生活を通して友人との時間はかけがえのないものだと思います。

私は茨高の歴史と伝統のある学び舎と生徒の主体性を重んじるところに魅力を感じ入学を決めました。高校1、2年次は一貫生と高入生は同じクラスになることはなく、隔たりを感じるかもしれませんが、文化祭やクラスマッチなどで沢山の交流の機会があり、交流を深める事ができます。また、同じ仲間には大きな夢や将来を見据えて努力し続ける人もいて自分も頑張ろうという気持ちにもなれました。そして何といっても茨高の環境は高校生活を送るうえで最高であると言えます。

大学進学後は身近な法律などをより専門的に、日本だけでなく国際的な分野も学びたいです。また、茨高で培った経験を元に新しい環境で自分の興味のあることに沢山チャレンジして将来の選択肢を広げられるように努力したいと思います。